

第3期鶴岡市中心市街地活性化基本計画（案）に対する意見公募の結果

1 概要

(1) 募集期間

令和6年10月30日(水)～令和6年11月15日(金)

(2) 意見提出者

2名（意見総数6件）

2 いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
賛同	素案に対して同趣旨の意見、賛同いただいたもの	0件
修正	ご意見の趣旨を参考にして案を修正したもの	0件
参考	今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの	6件
合計		6件

3 意見とそれに対する市の考え方

○ご意見の内容により分類して掲載しております。

○ご意見について一部要約等を行っている場合があります。

(1) 案に対して参考とさせていただいたもの

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
1	今更、中心市街地にこだわって物事を考えている事自体がナンセンス。人がいるのは、美咲、ほなみ、新斎辺りのお店周辺。市街地と言うならもっと広い視点で見ないと。まずは市役所を駅前か空港近くかインター周辺に移したら？	参考	本市は東北地方の市で最も広い面積を有しております。持続可能な都市構造を構築するためには、コンパクトなまちづくりが必要であるとの観点から、本計画では、公共施設や文化芸術施設などの都市機能を集積してきた約150haの区域を市域の中核をなすエリアと位置付けたものです。城下町として蓄積され

			<p>た歴史的空間と景観形成を維持するとともに、まちの文化を継承する中心市街地の新たな価値を創出し、魅力ある持続的な中心市街地の形成を目指してまいります。</p> <p>なお、計画区域に関しては、範囲・広さの妥当性や、集中投資する重点地区の設定等について、事業の進捗状況を踏まえながら検討してまいります。</p>
2	<p>この計画が全て上手く行った時に、市民全体のQOLはどの程度上がっているのか、それを成果指標するぐらいの気概が欲しい。</p>	参考	<p>「QOL」は「クオリティ・オブ・ライフ」、生活の質、満足度と理解いたしますが、中心市街地活性化基本計画では、目標として定量的な指標を設定することになっております。本計画では新規出店・立地数や自転車歩行者通行量、主要施設の観光入込客数など7つの指標を設定し、その実現のために36事業を計画しております。事業効果として、市民の皆様が中心市街地の活性化を実感いただけるよう計画の実施に取り組んでまいりますとともに、計画終了時には住民満足度などのアンケート調査を実施し、中心市街地活性化を総合的に評価、検証いたします。</p>
3	<p>中心市街地交通規制対策事業で川端通の対面通行が実現することで通行が活性化することに異論はありませんが、鶴園橋から大泉橋に至る内川右岸は城下町鶴岡の景観を支える重要な場所の一つと思います。市街地を観光される旅行者にしても歩いてみたいルートのはずです。内川沿いは視界も広く鶴園橋からL字に曲がって致道博物館までの道のりは、目印も多く旅行者にとっては居場所が分かり易い動線と思います。施設の更新によって景観としては少し情緒が薄れてきている面もありますが、交通が便利になったことによって、今後景観に支障をきたすような開発が起きない様に注意していただきたいです。</p>	参考	<p>これまでも本市では、歴史や文化などを大切にしたい美しい景観の保全と形成に配慮したまちづくりを進めてまいりました。本計画では中心市街地活性化の方針の一つに「城下の歴史と食を巡る「まち歩き」ができるまち」を掲げております。ご指摘のとおり、城下町の景観は市街地観光の重要な要素と考えておりますので、交通の利便性及びウォーカビリティの向上を図るとともに、集積する歴史的・文化的観光資源を生かしながら、鶴岡らしい都市景観を重視して事業に取り組んでまいります。</p>

4	<p>地域のどの様な街であっても、駅前や周辺部の大規模店舗が集約している場所などは、合理性が優先されて歴史や独自の文化などは全く感じられないエリアになっています。鶴岡も基本的には同じですが、それでも極端な高度利用はなく落ち着いた景観を保っていると感じます。城下町の歴史も踏まえて外観は古い町並みでも、内部は市独自の特徴を持った最先端の設備で形成されている商店街を目指せないものでしょうか。一例ですが、食に関しては市民の関心も高いですし、食文化創造都市として、また多くの友好都市を持つ特徴を活かして、食文化の国際通りなども魅力的だと思います。近代的なビル群でない古い町並みの方が馴染みやすぐ感じますし、小真木原運動公園などの周辺部だけでなく、中心商店街の周辺施設を改修強化するなどして、各種イベントを定期的に無理なく開催していける体制づくりを、中心部で長期計画のもとで検討出来ないものでしょうか。</p>	参考	<p>山当て景観など景観保持の観点から、都市計画高度地区等の規制効果を検証してまいります。</p> <p>ご指摘のとおり、城下町の景観は市街地観光の重要な要素と考えておりますので、中心市街地の主要な施設の改修強化につきましても、ご意見を参考とさせていただき、マリカ広場やD a d a 広場などのまちなか広場を整備するとともに、中心市街地で食に関するイベントなど魅力ある多様な事業が多発的に開催されるようイベント実施者を誘致して賑わいを創出してまいります。</p>
5	<p>中心市街地の交通は、南北方向は比較的道幅がありますが、横軸の東西には細い通りが残っています。計画通りに用地の確保が進まない為でしょうが、整備できれば通行が楽になるだけでなく、防災上も重要と思います。路線バスも荘内病院へのアクセスで、郊外路線と循環バスが幹線を分ける事態になっていますが、道幅が原因の一つと想像します。路線は利用データの蓄積から検討していくのでしょうか、運行本数の多いバス停を効率的に配置して利用を促進していただきたいです。バス停のハード面での整備は、利用の多くなったバス停について、事情を踏まえて検討を進めて頂きたいです。</p>	参考	<p>本計画ではまちなかの公共交通の利用促進を目標の一つに掲げております。ご指摘のとおり、利用者数、運行本数を把握・分析して利用促進を図っていくことは重要であり、本計画上でも「モビリティ・マネジメント事業」や「バス停留所高質化事業」において、バス利用実態を分析し、バス停の高質化に取り組んでまいります。</p>

6	<p>鶴園橋の両脇は、商工会議所会館の観光プラザや内川通りのバス停もある便利な場所ですが、観光プラザは駅の観光案内所ほどには観光客・市民の双方からも十分に知られていない印象があります。観光施設案内や休憩、周辺の飲食店などを紹介する拠点としての役割を一層強化できるように検討頂きたいです。</p>	参考	<p>本計画では、観光案内所や致道博物館などの施設への観光入込客数を目標指標としております。ご指摘のとおり、観光プラザの周知や役割の強化は、まちなか観光の推進にとって有益な取組であると考えます。</p> <p>目標達成に向けて、ご意見も参考とさせていただきながら、観光案内所機能の強化や中心市街地の観光施設と飲食店等を組み合わせたモデルルートを構築し、観光周遊を促進してまいります。</p>
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------